



見事な体つきなどを審査

本町の乳牛と馬が奮闘

第15回北海道総合畜産共進会



乳牛の部に参加した皆さん

本町では、5年に1度の全日本ホルスタイン共進会の予選も兼ねて開催が予定されていましたが、口蹄疫と東日本大震災の影響で中止となり、残念ながら全日本への出場はかないませんでした。皆さんは、次回開催の全日本ホルスタイン共進会の出場を目指して、さらなる乳牛改良を誓っていました。

9月10～11日には、同共進会の馬の部が開催されました。本町からも2頭(渡部忠司さん・阪口栄造さん所有馬)が釧路地区予選を突破して全道共進会にこまを進めました。惜しくも上位入賞には至らず、4年後の同大会での活躍が期待されます。

9月3、4の両日、第15回北海道総合畜産共進会(乳牛の部)が開催されました。本町からは釧路地区予選を勝ち抜いた9頭(坪井泰憲さん・江上和彦さん・高橋和憲さん・坪井秀明さん・吉田雄貴さん所有)が出陳され、江上和彦さん所有の「インレット・グリーン・フラワー号」が第14部において1等賞1席に輝くなど、素晴らしい成績を収めました。



夜店にはたくさん親子連れなどが



威勢のいい弟子屈神社みこし(右上) 頑張った弟子屈子どもみこし(上) 摩周丘幼稚園のみこし(右)

地域にぎわす多彩な催し

弟子屈神社例大祭
川湯神社例大祭

28日に行われたみこし行列では、本みこしが威勢の良い掛け声とともに練り歩いたほか、川湯保育園、川湯小学校、川湯中学校による子どもみこしも元気に歩きました。また、川湯ばやしも披露されました。

29日には、川湯神社境内で奉納相撲大会が行われ、訪れた保護者などから盛んに声援が送られていました。

8月27日から29日には、川湯神社例大祭が行われました。

20日に行われたパレードには、本みこしや弟子屈小学校の児童による子どもみこし、鎧獅子舞、パトントワラー弟子屈教室、北響太鼓などが参加し、町内を練り歩きました。途中、数カ所で行われたパトントンや獅子舞、太鼓の披露には、訪れた観客からたくさん拍手が送られていました。

また、神社前にはたくさんのお店が並び、家族連れなどでにぎわいました。

弟子屈神社例大祭が、8月19日から21日にかけて行われました。



川湯ばやしに盛大な拍手

町の話



町の話

長寿を祝い長年の貢献に感謝

町内各地で敬老会



徳永町長から記念品が(弟子屈市街地区敬老会)

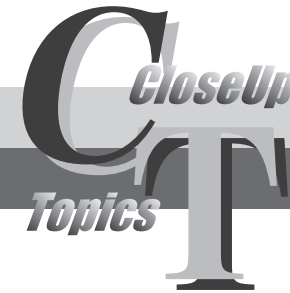
長年の社会貢献と長寿を祝う敬老会が、町内各地で開催されました。

9月17日に福祉センターで行われた弟子屈町睦婦人会(江口佑子会長)主催の「第63回弟子屈市街地区敬老会」には、278人が出席。徳永町長の挨拶に続き、八幡豊行町議会議長からお祝いの言葉が贈られました。古希(70歳)、喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)を迎えた方への祝い品贈呈では、代表者に記念品が手渡されたほか、アトラクションも用意され、出席した皆さんが楽しめました。

9月18日には、高齢者向け住宅ケア・サポートまつやまで敬老会が行われました。1階ロビーに集まった入所者の皆さんを前に、茶道裏千家の皆さんがお点前を披露。その後お茶が振る舞われ、おまんじゅうとともにおいしくいただきました。また、町内在住のフジワラトシカズさんが、落語を題材にした紙芝居を行い、皆さんは楽しそうに見入っていました。

紙芝居に大喜び(ケア・サポートまつやま)

町の話



町の話

地域の役に立ちたい

2社による社会貢献活動



クニオカ工業によるグラウンド整備

9月9日には、クニオカ工業(株)(今誠代表取締役)の皆さんが、旧母子通園センター跡地グラウンドの整備を行いました。

近く泉自治会の運動会が開催されるのを前に、昨年に引き続き社会貢献活動として行ったものです。作業には10人が参加。ブルドーザーなどを使用して、丁寧に整地を行いました。



多田塗装工業による駐車場のライン引き

多田塗装工業(多田征人代表取締役)の皆さんが8月25日、道の駅摩周温泉駐車場のライン引きを行いました。

同社による社会貢献活動は、砂湯や屈斜路研修センター、泉ふれあいセンターの駐車場など、数年前から行われています。この日は8人が参加し、手際よく作業を進めていました。